

第7回江南市下水道事業経営戦略策定委員会 議事録（概要）

会議名 : 第7回江南市下水道事業経営戦略策定委員会

開催日時 : 令和3年2月15日（月） 午前11時～正午

場所 : 江南市防災センター 研修室1

委員 : 出席委員5名（欠席2名）

横山 幸司（学識経験者）

小川 隆史（各種団体）

柴田 喜充（各種団体）

大脇 勇（公募市民）

古田 みちよ（公募市民）

（欠席） 奥村 真也（学識経験者）

（欠席） 浅野 敏夫（各種団体）

事務局 : 伊藤（下水道課長）

吉本（下水道課主幹）

柴垣（下水道課計画工務グループリーダー）

青山（下水道課雨水排水グループリーダー）

大池（下水道課業務・経営グループリーダー）

平山（下水道課業務・経営グループ）

資料

資料1 江南市下水道事業経営戦略（案）に関するパブリックコメントの結果について

資料2 江南市下水道事業経営戦略（案）【パブコメ後修正抜粋】

資料3 江南市下水道事業経営戦略 概要版（案）【パブコメ後修正】

資料4 江南市下水道事業の経営のあり方に関する意見について（案）

議題

1. パブリックコメントの結果と江南市下水道事業経営戦略（案）について
2. 江南市下水道事業の経営のあり方に関する意見について

1. パブリックコメントの結果と江南市下水道事業経営戦略（案）について

- 会 長： パブリックコメントの結果と、結果を踏まえて変更した「江南市下水道事業経営戦略（案）」、「江南市下水道事業経営戦略概要版（案）」について、事務局より説明いただきたい。
- 事務局： ～ 資料について説明 ～
- 委 員： パブリックコメントの結果にあるよう、合併処理浄化槽の処理性能は随分良くなっており、側溝に汚い水を垂れ流しているわけではない。今後、下水道を整備しない区域は合併処理浄化槽の普及を促進していくことになるので、担当部署は異なるかもしれないが、江南市が一体となって合併処理浄化槽の性能や浄化槽設置費補助制度についても積極的にPRしてほしい。
- 事務局： 確かに合併処理浄化槽の処理性能はよいため積極的なPRが必要である。ただし、あくまで正しく維持管理をすることが前提となるため、維持管理の必要性も含めたPRについて、浄化槽の担当部署である環境課と連携していく。
- 委 員： 水洗化率の目標数値が90%以上と、現在と比べて高めに設定されているように思う。高めの設定のため実際に目標を達成できるか気になるところではあるが、目標として掲げた以上はぜひ達成に向けて取り組んでいただきたい。
- 事務局： 水洗化率向上が下水道使用料を増やす上では重要である。経営戦略に掲げた水洗化率向上の施策をしっかりと取り組んでいく。
- 委 員： 市民からいくつかの意見を頂戴しているが、他の事案と比べて多かったのか。
- 事務局： 他の事案と比べて多かったと認識している。
- 会 長： 他団体では意見が0件であった事例もあるため、けっして少ない件数ではない。
- 委 員： 合併処理浄化槽の維持管理は下水道に対し費用負担が重いように感じている。利用者が不公平感を感じないよう、今後の事業を進めてほしい。

- 事務局： 下水道と合併処理浄化槽の利用者間に不公平感が出ないよう、今後の使用料改定において検討する。
- 事務局： 欠席した委員の事前の意見を代読する。職員数と人件費が過剰であると感じているため、削減の余地はないかとの意見であるが、国の基準に沿って人件費を支払っており、以前より正規職員も減らしている。今後も正規職員と臨時職員のバランスを見ながら組織を構成していく。
- 委員： 職員数も人件費も過剰ではないと感じている。現状より人件費を下げると、人材の流出も懸念される。
- 会長： 自治体の人件費は公表されているため、類似団体と比較し、数字で示せるとよいのではないか。
- 事務局： 今後の経営分析には必要となるため、データの整理をしていきたい。

2. 江南市下水道事業の経営のあり方に関する意見について

- 会長： 前回の会議で私より提案しました意見書について、事務局に案を作成してもらったので「江南市下水道事業の経営のあり方に関する意見について」を、事務局より説明いただきたい。
- 事務局： ～ 資料について説明 ～
- 委員： 下水道整備のあり方として、「人口減少を考慮している」と記載があり、確かに人口減少を考慮するのは重要なことだが、市の人口ビジョンなどではおそらく将来人口は多めに想定されており、そのイメージに沿ってインフラ整備をすると、どうしても整備量が過大になるなどギャップが生じると思うので、できる限りギャップをなくすようにしてほしい。
- 事務局： 人口減少していくことが見込まれるため、過大な投資にならないよう下水道の整備を進めていきたい。
- 委員： 江南市の水洗化率は低水準であるとしているが、低水準である要因は何か。

- 事務局： 江南市は下水道事業の整備が遅く、合併処理浄化槽の普及がある程度進んでいたため、整備してもすぐには接続できない環境であった。予算の関係で整備がゆっくりと進み、その間に合併処理浄化槽が設置された家が建ち、切り替えがスムーズに進まなかった。なお、整備完了後のエリアにおいて、新築は必ず下水道へ接続している。
- 委員： 下水道への接続を推進してほしい。
- 事務局： 先ほど説明したように経営戦略にのっとって取り組んでいく。
- 委員： 高齢者世帯など、下水道を接続しようと思っても費用負担が重いと感じている家庭がある。下水道へスムーズに接続できるよう、他自治体を参考にしながら、そういった家庭に対して積極的に支援してほしい。また、大規模な企業や病院などに対し、接続してもらえるよう積極的に営業してほしい。個人だけでなく法人にも接続を促すことで、水洗化率向上へ取り組んでほしい。
- 事務局： 検討し、しっかりと取り組んでいく。
- 会長： それでは、修正の意見はないようなので、私のほうから意見書として事務局に提出する。

3. その他

今後の予定について

- 事務局： 今回が下水道事業経営戦略策定委員会の最後の会議となる。なお、パブリックコメントが終了したため、令和3年3月中旬を目処に江南市下水道事業経営戦略の策定を完了させる。